

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2007-515250(P2007-515250A)

【公表日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2007-022

【出願番号】特願2006-547035(P2006-547035)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/84 (2006.01)

A 6 1 L 31/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 29/02

A 6 1 L 31/00 P

A 6 1 L 31/00 T

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月3日(2007.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

約7～350の比に延伸された配向性の再吸収性材料を含んでなる微小損傷性の再吸収性ステント。

【請求項2】

前記材料が、約10～350の比に延伸された、請求項1記載のステント。

【請求項3】

前記材料が、ゲル-押し出しされた、請求項1記載のステント。

【請求項4】

前記材料が、約50～500MPaの引張り強さを有する、請求項1記載のステント。

【請求項5】

前記材料が、約75～400MPaの引張り強さを有する、請求項4記載のステント。

【請求項6】

前記材料が、約100～300MPaの引張り強さを有する、請求項5記載のステント。

【請求項7】

前記材料が、約2～300GPaのヤング率と、約50～500MPaの引張り強さを有する、請求項1記載のステント。

【請求項8】

前記材料が、ポリエステル、ポリアンヒドリド、ポリアミド、ポリウレタン、ポリウレア、ポリエーテル、ポリサッカリド、ポリアミン、ポリホスフェート、ポリホスホネート、ポリスルホネート、ポリスルホンアミド、ポリホスファゼン、ヒドロゲル、ポリラクチド、ポリグリコリド、タンパク質細胞マトリックス、又はこれらのコポリマー若しくはポリマーブレンドである、請求項1記載のステント。

【請求項9】

前記材料が、フィブリン、コラーゲン、ポリカプロラクトン、ポリ(グリコール酸)、ポリ(1-乳酸)、ポリ(3-ヒドロキシ酪酸)、ポリ(dl-乳酸)、ポリ(d-乳酸)、ポリ(ラクチド/グリコリド)コポリマー、ポリ(ヒドロキシバレレート)又はポリ(ヒドロキシ-バレレート-

コ-ヒドロキシブチレート)である、請求項1記載のステント。

【請求項 1 0】

生物学的に活性な薬剤をさらに含む、請求項 1 記載のステント。

【請求項 1 1】

前記薬剤が、抗血小板薬、カルシウムアゴニスト、カルシウムアンタゴニスト、抗凝血薬、抗有糸分裂薬、抗酸化剤、抗代謝薬、抗血栓薬、抗炎症薬、抗増殖薬、抗高脂血症薬、血管形成因子、グルココルチコイド、デキサメタゾン、ベータメタゾン、フィブリン、ヘパリン、ヒルジン、トコフェロール、アンギオペプチン、アスピリン、ACEインヒビター、成長因子又はオリゴヌクレオチドである、請求項1 0記載のステント。

【請求項 1 2】

溶剤をさらに含む、請求項 1 記載のステント。

【請求項 1 3】

前記材料がポリ(1-乳酸)であり、かつ前記溶剤が酢酸エチルである、請求項 1 2 記載のステント。